

# 未来の暮らしを支える 研究施設等廃棄物の埋設事業

Sustainable

研究や医療・工業などの放射線利用から発生する低レベル放射性廃棄物（研究施設等廃棄物）の埋設事業により、豊かで健康な持続可能な社会づくりに貢献します。

## 研究施設等廃棄物の埋設事業

研究機関

医療機関

大学

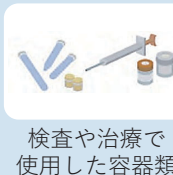
企業



発生する主な廃棄物



作業着・ゴム手袋  
ペーパータオル



検査や治療で  
使用した容器類



金属・  
コンクリート

放射能レベルが低い廃棄物は、浅い地中に設置する埋設施設で、その放射能が十分に低減するまで管理します。

地表

土壌

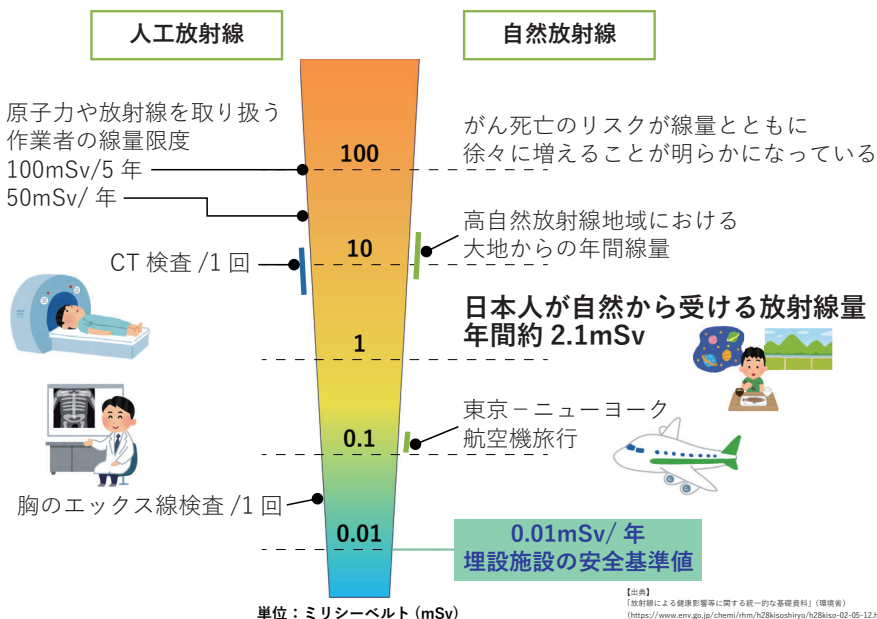
地盤

トレンチ埋設施設

ピット埋設施設

## 埋設に関する放射線量の安全基準

埋設施設は、地表近くの自然現象による放射性物質の移動を抑制するように設計し、人々の被ばく線量が国の安全基準である年間0.01ミリシーベルトを超えないようにします。  
（日本人が自然から受ける放射線量のおよそ200分の1です。）



## 海外事例

海外でも浅い地中で埋設が行われています。



リッチランド(米国)  
1965年～トレンチ埋設施設



オーブ(仏国)  
1992年～ピット埋設施設



ドーンレイ(英国)  
2015年～ピット埋設施設



ウォルソン(韓国)  
2022年～建設中 ピット埋設施設